

平成31年4月22日（月）  
18：30～20：30

1 開会行事

(1) 会長あいさつ

新しい年度が始まり、新しい委員の方も加わった。  
効率よく会議をすすめていきたい。ご協力よろしく  
お願いします。



(2) 校長あいさつ

取組を進め、福栄地域のためになることを実行し  
ていきたい。

2 平成31年度 福栄小中学校学校運営協議会委員について  
(校長) (別紙資料)

3 自己紹介

4 学校運営協議会規約について(校長)  
(別紙資料)



5 協議

(1) 平成31年度学校経営方針について (別紙資料)

(2) 児童生徒の学校生活の様子について

・生活面(藤山、網本)

小学部

- ・入学児童7名 頑張ろうという気持ちをもっている様子がある。
- ・昼夜の気温の差によって、体調不良者が出ている。

中学部

- ・2週間経ち、1年生は徐々に中学部の生活に慣れてきている。
- 2、3年生は、年度が変わり、頑張ろうという気持ちが感じられる。
- ・メディアの時間が多い生徒がいる。
- ・全体でのあいさつはよくできているが、1対1でのあいさつには課題がある。

・学習面(茨木、磯部)

小学部

- ・全国学力学習状況調査の解答を分析して、今後の学習支援について方針を決めていく予定。

## 中学部

- ・家庭訪問などでの個人カルテをより充実させ、全国学力学習状況調査を分析し、個に応じた指導支援をすすめていく。

### (3) 平成31年度コミュニティ・スクールの事業計画について

- ・今年度、学校運営協議会後にCS部会を行う形にする。
- ・第2回目、第4回目の学校運営協議会では、授業参観後に熟議を行う。
- ・第3回目は教員が全員参加をする。
- ・第2回の学校運営協議会では中学部の生徒会執行部が会議に参加する。

### (4) 各部会の所属について

### (5) CS部会について

- ・リーダーの確認、連絡方法  
マチコミメールを利用した連絡をしているため、登録のご協力をいただきたい。

- ・熟議の確認

### (6) 部会別協議及び報告

- ・熟議「学校のPRについて」

#### ○環境構成

- ・話題性のあること（50分授業、たたら太鼓、総合的な学習の発表等）をメディアを活用して発信する。
- ・地域住民との交流（探訪遠足など既存の行事に一般の方の参加等）
- ・福栄に来るきっかけをつくる。（参加型のイベントを企画、YouTubeでの発信、社会見学の受け入れ等）
- ・仕事があることを情報発信する。
- ・地域住民全体が、「地域に人が来てくれるように」という目標を共有し、言えるようにする。



#### ○学力向上

- ・子どもの受け入れ（山村留学、課題のある子どもの受け入れ等）
- ・小中一貫校の良さ（特種な部活動、カリキュラムの工夫で学力向上等）
- ・メディアでのPR（テレビの取材、ホームページ等）
- ・体験学習（農業体験、林業体験等）
- ・イベントの活用（地域の祭り、地域の歴史、学校祭で独自の学習を生かした企画等）



- ・地域に福栄独自の施設をつくる。
- ・福栄小中学校を、子ども達が楽しく学べるような魅力がある学校にする。

○生活力向上

- ・宅地の造成、外国人人材の定住
- ・地産地消の推進
- ・自然体験、スマート農業
- ・地域づくりをしっかりと推進するが大切。福栄に足を運んでもらって、いろいろな体験をしてもらえるようにする。その中の一つの引き出しとしての学校という位置づけで考える。
- ・福栄を体験し福栄について知った人が、福栄について発信してもらえるようにする。



- ・田中指導主事から
  - ・熟議が本当に活発で熱い思いを感じた。
  - ・野島小中学校の例・・・その学校でしか学べないことを学びたいから集まってくる。
  - ・地域に学校を存続させることは、地域のために大変重要なこと。

6 その他

7 閉会行事

(1) 会長あいさつ

非常に活発な会だった。今後の会でも継続していきたい。

(2) 校長あいさつ

地域の方が「こんな学校にしたい」という思いをもっていて、その思いが表出した会だった。関係人口を視野に入れたアイデアが多く出た。

